



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2022年9月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

札幌クラブ

EMC (Extentsion, Membership & Conservation)

— 主題 —

国際会長
アジア会長
東日本区理事
北海道部部长
札幌クラブ会長

「フェローシップとインパクトで次の100年へ」
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
「未来に向けていますぐ行動しよう」
「出来ることから今すぐ行動しよう！」
「Sustainable Y~中学生、高校生、ユースとともに~」

Samuel Chako(インド)
Chen Ming Chen(台湾)
佐藤 重良(甲府21)
小谷 和雄(札幌北)
伏木 康(札幌)

札幌クラブ役員

会長 伏木 康
副会長 中田 靖泰
書記 小野 健
会計 秋葉 聡志
直前会長 柴田 伸俊

今月の言葉

とにかく、考えてみることである。工夫してみることである。そして、
やってみることである。失敗すればやり直せばいい。 松下幸之助 (小野健選)

巻頭言

「水漏れバケツ」と「不用の用」

札幌クラブ副会長 中田 靖泰

所沢クラブのブリテン 8月号に小関京子さんが「水漏れバケツの話」と題してこんなことを書かれています。引用させていただきます。

水漏れバケツの話 小関京子

イギリスの子ども向けのお話です。この話を思い出した時に、元気が出てくるのです。美しい庭を管理する庭師がいます。彼は、毎日2個のバケツ下げて、離れた小川まで水を汲みに行きます。一つは真新しいバケツ、もう一つは使い古して穴が開いてきているバケツです。新しいバケツは自分がしっかり仕事が出来ていると自慢します。穴あきバケツは自分の姿をわきまえており、それでも使ってくれる庭師に感謝しながら仕事をしていると言います。庭師は双方のやり取りに耳を傾け、小川までの小道をよく見るように伝えます。小道の新しいバケツの側は別に変化はないのですが、穴あきバケツの側には、緑色の若芽がずらっと一列に頭を並べていたという結末です。自分が役立たずだと思っても、今できることがあることに感謝しつつ、日々の生活を送ることによって、知らず知らずに何かのお役に立っていることがあるというお話です。穴の開いた水漏れバケツは、まさに、今の私の姿です。出来ることが少ない私です。でも、使い古された穴あきバケツの私、今自分にできることを、これからも頑張っていこうと思っています。

(所沢クラブブリテン 2022年8月号)

この話を読んで心に響きました。最近、私も方々水が漏れている感じがしています。ワイズのイベントに参加しても何もできずに写真を撮っているだけで、かえって足手まといになっています。どうすれば小関さんのお話のように役に立つことが出来るのか悩むこともあります。でもそんな時、思いだすのは荘子の「人は皆、有用の用を知るも、無用の用を知らず」という言葉です。「有用無用など気にせず自由に生きよ」と励まされます。何気なく使っている下の言葉も皆荘子の言葉です。「井の中の蛙大海を知らず」「明鏡止水」「命長ければ恥多し」「君子の交わり淡き事水の如し」皆さんも聖書ばかりではなく、時には荘子も読んで下さい。

イギリスにいた時、私はこの話は聞いていませんでした。オックスフォードで小学校時代を過ごした二人の娘に聞いてみました。下の娘が「小学校で聞いた」と言っています。イギリスの教育理念と合致しているのだと思います。当時、イギリスには教科書の検定制度(まして国定教科書など)はありませんでした。学校ごとに自由に選びます。教室の中でも、子供の伸度に応じたものを使います。娘たちの通った小学校では Ladybird というシリーズを使っていました。1~12までの段階があり、各段階に a~c の3冊、全部で36冊があります。同じクラスの中でも、いつまでも3bでうろうろしている子もいれば、もう7cを読んでいる子もいます。クラス全員が「サイタサイタサクラガサイタ」という風景はイギリスでは見られませんでした。

(私の一世代前は「ハナハトマメ」でした。)

2022年8月例会
出席報告

在籍会員 9名
ゲスト 2名
例会出席者 9名
出席者合計 18名

ビジター 6名
ビジターメネット 1名
(内リモート 1名) 出席率 100%

札幌ワイズメンズクラブ 2022年9月例会

日時：2022年9月20日（火）18:30～20:00
会場：北海道YMCA 101 教室+リモート
会費：500円（食事なし）
プログラム

- 司会 小野 健
- ① 開会点鐘 会長 伏木 康
② ワイズソング、ワイズの信条 全員
③ 今月の言葉 & なぜこの言葉を 小野 健
④ 開会あいさつ 会長 伏木 康
⑤ 誕生日 札幌 9月 8日 秋葉 聡志
札幌北 9月 14日 高杉 久美子
9月 18日 熊 加代
9月 21日 佐藤 國彦
⑥ 結婚記念日 なし

- ⑦ 卓話
「**登別における自然体験活動
の取り組み**」(オンライン)

ももんがくらぶ事務局長 **吉元美穂様**

- ⑧ 諸報告
⑨ YMCA報告 担当主事 北川 佳治
⑨ 北クラブ報告 北クラブ会長 小谷 和雄
⑩ 今月の歌

「**長崎の鐘**」
(中田靖泰選)



- ⑫ 閉会あいさつ
札幌クラブ会長 会長 伏木 康

札幌ワイズメンズクラブ 8月例会記録

日時：2022年8月23日（火）18:30～20:30
出席：柴田・秋葉・北川・中田・伏木・宮崎・
山崎・安田・(リモート:小野)・
(札幌北クラブ) 小谷・熊・工藤・藤田・森本・
森本メネット (町田スマイリング) 為我井
8月例会は「疑問の多い時代、待つか、変えるか」というテーマでイエル紗知、イエルヴィンセント夫婦にお話しいただきました。

札幌ワイズメンズクラブ 8月事務会記録

日時：22年8月30日（火）19:00～20:1 (meet)
出席：伏木 (長)・秋葉・柴田・中田 (web)・北川
1. 9月例会・事務会について

例会 日時：9月20日（火）18:30～20:00

※対面&リモート。終了時間を20:00に変更。北クラブと合同。卓話者：吉元美穂さん※ユーザー、関心あるYMCA会員にも案内する。

事務会 日時：9月27日（火）19:00～20:00

※対面&リモートのハイブリッド実施

2. 9月チャリティーイベントについて
・9月18日開催のYMCAチャリティーイベントに親子体験関連予算から協賛金2万円を拠出。
3. YMCA 寄贈品の飲料の販売コーナーをワイズで担当する。参加予定：秋葉・柴田
4. 十勝のじゃがいも販売は、9/7-8のスタッフ出張の際に持ち帰り可能であれば検討する。
5. YMCAチャリティーパークゴルフについて
6. 10月16日（日）予定。
7. 10月例会について：
・10月18日（火）ベトナムPHDユンさんと繋いでのオンライン例会を企画。国際担当佐藤ディレクター経由で現地の都合を打診する。
8. インクルージブサッカーイベントについて
・11月12日（土）午後を予定。伏木会長と北川担当主事で検討を進める。
9. ラッコマンボウ水泳大会支援：
・11月23日（祝）予定。コーヒーサービス。
10. チャリティーコンサート、チケット販売について
・12月7日（水）キタラ小ホール 昨年同様、津留崎・安田のチェロとピアノのコラボ。
11. 12月例会兼事務会兼望年会兼Xマス：
・12月20日（火）行啓通の居酒屋等で会食を中心とした例会を提案、了承。

12. 1月例会について：

・例年の札幌・札幌北の1月合同例会を北海道部4クラブ合同の新年会として札幌北クラブ主催で宿泊例会にしてはどうかとの伏木会長より提案あり。今後小谷会長と相談し検討。

以上 記録者：秋葉

なぜこの言葉を！ 小野 健

今の私のプロジェクトは栄養をテーマにしています。アフリカの村のコミュニティの人や学校児童の栄養を改善するための取り組みには、これだ！という正解はありません。チャレンジしていくことが大事だと自分だけでなく周りのスタッフやカウンターパートに言い聞かせながら日々悩んでいます。みんなで悩みながらプロジェクトを作り上げていきたいと考えて、実施に向けて準備中です。

なぜこの歌を！ 中田 靖泰

一月後れですが、永井隆を思い出したいと思います。8月9日の長崎の原爆で自身重傷を負いながら被害者の看護に献身し、2畳一間の「如己堂」(己の如く隣人を愛せ)で人を愛し、世界の平和を願い続けた偉人が安らかに眠ることができるように。

8月例会直話 日加夫婦マウンテンバイクの可能性を求めて 紗知&ヴィンセント・イエル



結婚を決めた時、日本かカナダどちらの国に住むかの選択は容易でした。北海道のパウダースノーに魅せられたと思ったら、食、温泉、気候、そして自然環境と北海道の誘惑

は激しく、仕事のことで少し考え、札幌を拠点としました。

結婚して2年目の夏、夫(ヴィンセント)が突然喧嘩しました「北海道のグリーンシーズンは楽しくない！なんでこんなに山も森もあるのにマウンテンバイクをしている人がいないの？」と。というのも夫が出身の北米ではマウンテンバイクが20年前に流行り始め、今日では自転車にさえ乗れば年齢関係なく楽しめる国民的スポーツとして根付いています。そのため北海道のグリーンシーズン中、特にスキー場が稼働していないのを見ると、もったいないと思うようで、我慢しきれず流行っていないのなら流行らせようと、立ち上がりました。現在、留学と英語教育を生業としておりますが、そこにマウンテンバイクという新たな事業が加わり、奮起しております。

「マウンテンバイク」と聞くと、“山を勢よく下る”イメージが強くなり、激しいスポーツとして日本では認識されがちですが、未舗装でもほとんど斜度のないフロートレイルという眺めやサイクリングの気分がゆっくりな走行を楽しめるコースもあり、北米では健康や教育にも良いため、特に小さい子供のいる世代は、バイクパークと呼ばれる自転車で遊べる環境のある街に引っ越し、健康や教育だけでなく、そこで生まれる親同士、子供同士、近所のコミュニティを大切に考え生活をしています。

日本でもSDGsを始め環境教育について聞くことが増えました。もちろん北米も一緒です。そこで私た

ちはマウンテンバイクを含めた自転車アクティビティを通して、室内でテレビやビデオゲーム、携帯電話などと長い時間を過ごしている子供達や、南区のような自然に恵まれたエリアにいても「することない」という子供たちに”自然”に近づく理由を作る活動をしています。登山は面倒に思っても、自転車なら楽しい。楽しいと思った時に周りを見渡すと緑に囲まれていた。この楽しみをなくさないため、次の世代にも楽しんでもらえるように自然を大切に共生しよう。こんな気持ちが増え始めるのが私たちの活動のゴールだと思っています。

最後にマウンテンバイクの何が北米で良いとされているか羅列して終わります。

- ・家族で楽しめる
- ・同じ趣味の友達を作れる
- ・健康美容維持
- ・ストレス解消になる
- ・一般的な運動神経が良くなる
- ・日常のリスクマネジメント力向上
- ・達成感から向上心が養われる
- ・自然を大切に思うようになる

(自然がないとできないスポーツのため)

- ・山道なので石や枝、コースアウトをしないように集中するため、仕事のことを忘れ集中でき、集中力も鍛えられる
- ・子供から離れる時間を基調に思う
- ・レベル別のコースを通常は走るため多世代交流が起きコミュニケーション力が高くなる

なんだかざっと見ると今の日本の若者たちに育んでほしいスキルがたくさんあるなと感じます。自分たちが好きだから流行らせたくて始めた事業ですが、やるからには万人のためになってほしいので、今は二人三脚ですが少しずつでも確実に札幌市南区からマウンテンバイクの良さを広めていくことに努めます。

女性も子供もできるエキサイティングなスポーツです。ぜひこれを読んでいただけたら、機会を見つけていただき、体験していただけたら嬉しいです。そうでなければどうか言葉でマウンテンバイクの素晴らしさをお友達にお話ししてあげてください。



写真左「2022年8月例会」

前列左から：

熊、工藤、中田、小谷、ヴィンセント・イエル、紗知・イエル、高杉、伏木、安田、柴田

後列左から：

藤田、森本メネット、森本、宮崎、秋葉、山崎、北川

壁面スクリーン：

左、為我井(町田スマイリング)、右、小野

*下線()は札幌北クラブ

YMCAニュース 担当主事 北川 佳治

ワイズメンズクラブ 100周年

① 小学校水泳授業指導報告

今年度も市内小学校に対して、水泳並びに着衣泳の出前授業を行いました。今年は、市内4校で延べ1,800名程の児童さんを対象に行い、過去最高人数の授業となりました。最終日には各学校の児童さん直筆の感謝状を頂き、スタッフのモチベーションアップとなりました。YMCA アクアティックとして、これからも地域に根差しつつ、ウォーターセーフティ活動を続けていきます。(下:児童からの感謝状)



② 国際協力チャリティーイベント案内

来る10月17日(土)、18日(日)に札幌YMAC会館にてチャリティーイベントを実施致します。昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策として、「予約制」が主となりますが、今年は一部自由参加型のイベントも開催致します。

内容としては、①親子スポーツ体験(サッカー)、②水泳プライベートレッスン、③ドミノ体験、④ビンゴ大会、⑤eスポーツ大会、⑥大人のサッカークリニック等です。

また、今回は特別ゲストとして、元大阪YMCA職員でプロサッカークラブの下部組織でコーチも務められていた、池上正さんをお招きし、親子サッカーおよび大人のサッカー/クリニックを行って頂きます。

尚、本イベントの益金は、主に、ウクライナ支援およびベトナムの教室建設費用に使用されます。皆様のご参加、ご協力を心よりお待ちしております。

お申し込み:札幌YMCA(011-561-5217)

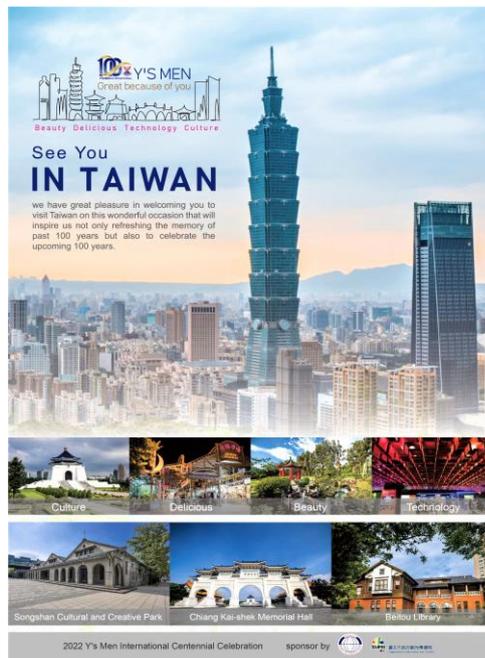


左…池上正さん
右…水泳個人指導



ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. う。世界的視野をもって、国際親善をはかる
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。



十一月十五〜十七日、台北市でワイズメンズクラブ国際協会創立百周年記念祝賀会が開かれます。ご都合のつく方はぜひご参加ください。

9月例会卓話者紹介
吉元 美穂さん

NPO 法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ



東京都出身。大学時代、都市と農村の交流、環境教育などと出会う。会社勤務を経て、「自然」と「NPO」をキーワードに掲げて転職。NPO 中間支援組織を経て、2005年より登別市ネイチャーセンタースタッフおよび現職。また、

2010年より地域子育て支援拠点富岸子育てひろばセンター長も兼任。0歳児からののんびり体験活動から大人向けのワイルド野外活動まで担当すると共に、経理・総務の実務から企画立案・事業開発、組織の運営を担う。

今後の行事予定 9~10月

- ▼ 9月18日(日) YMCA 国際チャリティーイベント
札幌YMCA 10:00~15:00
- ▼ 9月20日(火) 9月例会
札幌YMCA 18:30~20:00
- ▼ 9月24日(土) ジャがいも掘り
清水町中村農場 13:30~14:30
- ▼ 9月27日(火) 9月事務会
札幌YMCA&リモート 19:00
- ▼ 10月16日(日) チャリティパークゴルフ
エルクの森パークゴルフ場
- ▼ 10月18日(火) 10月例会
札幌YMCA 18:30~20:00
- ▼ 10月25日(火) 10月事務会
札幌YMCA&リモート 19:00